



園だより

2019.04.26 No.1

入園、進級してあっという間にもうすぐ5月、そして新しい元号『令和』に変わります。新たな気持ちで過ごし、良い時代になる事を願っております。

今年度、園舎内に入って頂きわかったと思いますが、新たに図書室を作り、預かり保育とひよこ組の部屋を変え、保育室内の用具や玩具を学年毎にまとめ、統一し整理しました。誕生表もペーパーレスや仕事の質と量、他の園にないようなものを考えていく試みの一つとして変化させました。絨毯を揃え、始業式の折に子ども達に使い方や扱い方を説明し、各保育室においても話をしています。子ども達にも物の丁寧な扱い方や用具の使い方を覚えてもらいたいと思っています。綺麗な環境はとても重要な事と思います。園舎も建築年数が経ち変わることの出来ないところもありますが、あるものの中で少しでも素敵な環境を作り上げていきたいと思っています。私達も新たな気持ちで楽しく毎日を送っていきたくと保育しております。

幼稚園では新しい環境に慣れつつ、登園時は泣いている子も保育中は笑顔で過ごしている子ども達です。新しい環境となり、年長は他の学年よりも人数が多くなりました。副園長や園長が入る等全職員で配慮しています。人数が多いので年長クラス付きの補助や2人担任という事も出来ないことはないですが、このほうが担任はやりづらくなってしまいます。この人数だからこそできるものがあります。きっとこの人数を経験したことのある保育者は頷くだろうと思いますが、保育者は子ども達への目の配り方や保育の計画性を極め、いかに子ども達一人ひとりの成長を引き出すことができるかを考えています。子ども達は、今まで少人数の集団を経験してきたからこそ人数が増えると今までのようにはいかないという事を知り、その中でどのように行動したら良いかを学ぶ事でしょう。

若草ではクラスだけにとらわれず、園全体で子ども達を見ていくようにしていきます。このような事で、子ども達の成長に繋がる、関わり合いが今まで以上に強くなる等、私達はその中で成長を見守り共に成長していきたいと思っています。行き届かないところもあるかもしれませんが、職員一同懸命に行っておりますので、今後ともご理解ご協力の程よろしくお願い致します。

---

## 避難訓練

今回の訓練は私達にとっても子ども達にとっても有意義な訓練となりました。大地震を想定しての訓練ですが、日常の降園と重なるので降園準備をさせてからの訓練、本番と全て同様はなかなか難しいものがあります。なるべく本番に役立てられるように、万が一の地震は色々な状況が想定されるので、毎年少し試行を変えています。去年は11時発生時刻よりも早く降園準備をして防災頭巾は手元にある準備万端な状態から避難しましたが、今年は避難放送が入ってから防災頭巾をかぶり非難することに致しました。それぞれのクラスで非難の仕方を話し練習してから訓練を行いました。上履きはどうしたら良いのだろうか、上履きを忘れたからと取ってこようとする子も見られました。いつもの訓練で行っているにも関わらず、少し状況が変わる事で、子どもの中にはパニックになってしまう事もある、そういう場合も今回体験できました。この経験は万が一の本番にいかされることを願いつつ、今後の確に判断実行できるように日々訓練を重ねていきたいと思えます。

幼稚園から近隣に住んでいる方は、実際起こった時は今回同様、子供達が避難してくるまで待っていただく場合もありますし、状況によっては変更することもあります。実際いつも震度3位の地震が起こった際は、机の下で地震がおさまるまで数分身を隠しているので、今回のようにはいかないかもしれません。

東日本大震災の時は寒い季節で、若草では全員引取りまで園庭避難と室内避難の両方行い身の安全を守りました。知り合いの地方の園では、ずっと園内で子ども達は机の下に潜り出たりを繰り返したという話も聞き、園によっても被災場所によっても避難行動が異なります。また東日本大震災時、お寺の本堂は思った以上に揺れていました。本堂はあえて軸を中心に揺れる構造で倒れない仕組みになっていると聞きますが、万が一の場合どうなるかわかりません。屋根の瓦も補修していると聞いていますが、落下してくる事も想定されますのでなるべく離れ近寄らないようにして頂きたいと思えます。

万が一起こった場合には、基本的にはいつもの引き取り訓練のように行いたいと思っていますが、緊急でこうしたほうが良いと判断した場合には変えることもありますので、その場合にはこちらがお伝えしたように行って頂きたいと思えます。また、今回早くこられた方は、園の細い道の塀沿いに並んで頂いたようですが、塀が古く倒壊の危険性がある為、本当に起こった際は塀のそばに近づかず、参道の真ん中に並んで頂く等自身の身も守って頂きながら行うようお願い致します。

お忙しいなが、ご参加くださり有難うございました。

---

はやいもので、4月の1ヶ月があつという間に、過ぎようとしています。4月は、多くの人にとって始まりの月だと思います。そのため、自分の生活態度などを見直せるよい機会でもあると思います。挨拶1つとっても、何気なくやるのか、意識して挨拶をするのかで、相手に伝わる熱量が変わってくると思います。何かを行動する時に、ふと立ち止まって、自分の気持ちを確認してみる作業を入れてみるとよいと思います。

先日、学生の方に向けた、東京都の私立幼稚園が100園以上が集まる“幼稚園フェア”にブース出展をしてきました。出展についてもいろいろなルールやマナーがあります。多くの幼稚園が集まる中で、ルールやマナーを乱すことがあれば、幼稚園全体がよく見られないことにつながります。また、学生の方にも同じようなことが言えるなと思いました。1例を挙げると、今年フェアに来場された学生さんで、リクルートスーツではない学生の方が今年は増えたなという印象がありました。自分のスタートをどうきるか、服装もマナーにつながるところだと思います。フェアでは、いろいろな幼稚園がブース内を、レイアウトしています。幼稚園が集まっていますので、視覚的にはブースの装飾など、似通ってしまうところが出てきます。そこを、どうやって“独自性”を追求していくかというのがとても重要だと思いました。今年度のブースレイアウトや学生の方への説明も、若草幼稚園オリジナルの独自性が、伝わればよかったなと思います。

佐藤

進級、入園して1カ月が経とうとし、子ども達も新しい生活に慣れてきて落ち着いて過ごせています。年少組は、朝の支度も覚え声をかけなくても、どこに持ち物をしまうか等わかっているようです。リュックを背負う、カラー帽子を被る等、初めての事も頑張っているようですが、まだできない子がいます。ご家庭だと親にやってもらう事もあると思いますが、幼稚園では自分の事は全て自分で行うようにしているので、自分で出来る事はご家庭でも自分でやるようにしましょう。できることで自信に繋がります。着替えも始まるので、シャツを中に入れる、裏返しを直す等の練習もしておいて下さい。

また、幼稚園では砂場で遊んだり、ぬいぐるみで遊ぶ事が人気な年少組さんです。自分でやりたい遊びを見つけ楽しんでいるようですが、年齢が低い事もあるのか友だちとの関わりがあまりみられません。そこで砂場でご飯を作って友だちにもあげたり、友だちのご飯を食べて「おいしいね」と言ったり、少しずつ関わりがもてるように声をかけています。時には喧嘩をすることもありますが、気持ちをぶつける、共感する、様々な経験をしながら人間関係を学んで欲しいと思います。

また、年中や年長組の子どもの中にもタオルを畳んでいない子もいました。全学年皆が1つ1つ丁寧にできるように声をかけていきたいと思います。是非、ご家庭でも丁寧にできるように声をかけて頂けたら更なる成長になると思います。

---

春休みが明け、年長組となり幼稚園で一番のお兄さん・お姉さんということに、期待とドキドキとした緊張を胸に抱えて始業式を迎えたと思います。進級当初は、初めての部屋にそわそわしたり使い方に戸惑う姿がありましたが、今では約束事を守って楽しんで生活をしています。今のゆり組の現状は、話を聞く時の姿勢が悪かったり、活動と遊びのメリハリがつけられない子が多いです。どういう姿勢で聞くべきか、どうしてそれが大切なのか、話し合ったり声を掛けながら、少しずつ子ども達が自分達で意識していけると良いと思っています。また、この1年で日々の生活や様々な行事を通し、『メリハリをつけ、自分達で考える力を身につけられる』クラスを目指し、皆で協力して楽しく笑顔の溢れたゆり組にしたいと思います。1年間どうぞよろしくお願いいたします。

年長さんになり、初めての製作はこいのぼりです。包装紙を自分達で、こいのぼりの形を作るところから始め、うろこに見立てて細長い短冊状の紙を上下に編み込みました。互い違いに編み込みをする事の理解に個人差が見られましたが、挑戦し終わると「出来た！」と嬉しそうでした。難しいからこそ出来た時の喜びは大きかったと思います。こいのぼりの棒は、初めて持った自分だけの絵の具を使って描きました。

外遊びでは年長は年長、年中は年中で遊ぶ姿が多く見られたので、他の学年の子に話しかけられるように子ども達に伝え、皆で鬼ごっこをしたりしました。来月からは年少さんも14時保育になるので、学年関係なく皆で遊べるように見守って行きたいと思っています。

さくら組になり、早くも1カ月が経ちました。新しい環境に緊張していたみんなでしたが、友達と仲良く遊ぶ様子が見られています。少しずつ、自分で出来ることが増えお兄さんお姉さんへと成長している子ども達を見る事が出来て嬉しく思います。

さくら組では、友達との関係を大切にしたり、自分の気持ちを相手に伝えられるようにしたりしています。

また、すぐに「分からない」「出来ない」という子どもが多くいる為、自分で考える力も身につけていけたら良いと思います。

新しい遊びで、はないちもんめにも挑戦しています。自分たちで話し合っって決めるという事がまだ難しいようで、時には言い合いになってしまうこともあります。それも成長の1つだと思ふ為、仲介に入ったり見守ったりしていきたいと思っています。

こいのぼり製作を行ないました。自分で線を描き、その線を切って作りました。自分で線を描くのに苦戦している子どもも多くいましたが楽しんで製作を行なっていました。ウロコの部分は和紙を染めて綺麗なウロコを作って貼りました。

さくら組の子ども達だけでなく若草の子ども達皆と沢山の事を経験して楽しい思い出を作りたいと思っています。1年間よろしくお願いいたします。

---

4月16日より、今年度ひよこ組がスタートしました。ひよこ組は火曜日と金曜日コースとあり、月3～4回行っています。

前期は親子で園庭遊びや園での遊具を使ったり、廃材を使った製作をしたり、おやつを食べたりと、楽しいこと盛り沢山です。

まずは、幼稚園に慣れて、お子様とお母様やお父様と一緒に時間を過ごして欲しいと思います。

しかし、ただお子様をみているだけでなくお子様の成長に繋がるような関わりをしながら見守り、時に手助けをして頂きたいと思っております。

例えば、タオルを掛ける、上履きを履く、タオルをたたむ、椅子を机にしまう等、これから幼稚園に入る上で必要なことを見守り成長に導いて頂きたいと思っております。ご家庭でもお手伝いのようにして、できそうなところからお子様の成長の手助けをして頂けると良いと思っております。

また、ひよこ組以外でも若草幼稚園の子ども達と関わっています。ひよこ組だった子ども達が成長する姿を見る事ができて嬉しく思います。外でも中でも自ら成長できる若草の子ども達に育って欲しいと思っております。

## 4・5月の絵本

(年長)

- ・おべんとうなあに？
- ・となりのまじよのマジョンナさん
- ・ともだちがほしいの など

(年中)

- ・ももいろのきりん
- ・まいごのこいのぼり
- ・わんぱくだんのたからじま など

(年少)

- ・むしさんどこ
- ・おべんとう
- ・おにぎり など

## 4・5月の歌

(年長)

- ・春の風
- ・小さなせかい
- ・こいのぼり

(年中)

- ・春がきた
- ・どんないろが好き
- ・おなかがへるうた
- ・こいのぼり など

(年少)

- ・お花がわらった
- ・おかあさん
- ・こいのぼり
- ・ぶんぶんぶん など